

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
事業名	714	ふるさと水と土保全対策事業	01	01	一般会計
基本施策	42	持続的で個性的な農林業を実践する	06	06	農林業費
			01	01	農業費
			03	03	農業振興費
担当部課名		青山支所産業建設課	117	117	ふるさと水と土保全対策事業
作成者氏名	山内 敏	連絡先	52-3220	01	ふるさと水と土保全対策事業

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
事業の目的	種生区活性化計画推進委員会	環境整備の結果、快適な住環境を整備し、地元住民自身の意識変革と、地域全体を都市住民との交流拠点とする。
本年度事業内容	種生区の農地や土地改良施設の保全管理活動、農村景観の保全活動、環境創造に必要な動植物の保護活動等に対する助成	
開始年度	平成 16 年度	終了年度 平成 年度
根拠法令・要綱等 三重県補助金等交付規則、ふるさと水と土農村環境創造事業補助金交付要綱		

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
	人件費合計(A)	720	720	720
②支出内訳(千円)	事業費(B)	245	190	208
	委託料			
	補助金	245	190	208
	その他			
合計(A+B)		965	910	928
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金	245	190	208
	地方債			
	受益者負担 その他特財			
一般財源	720	720	720	
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
活動参加者	人	30	30	30			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
活動参加者	本事業は、県の補助金要綱により環境創造に資する活動を5カ年計画にまとめ、これが採択され実施しているものである。よって、環境・景観創造の活動(作業)に参加した延べ人数により、地域活動の指標となる。	人	30 目標 ()	30	30
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

本年度が初年度であるため、本事業自体の状況変化は無いが、地元委員会ではこれまでも各種環境整備事業には計画的に取り組んでおり、実績がある。本事業もその一環であり、継続した息の長い取組み自体が、地域づくり活動であり、美しい農村が整備されることは活動の結果であり、目的ではない。今後は目的のとおり自立した活動が定着、発展するよう見守って行く必要がある。

評価	必要性	4	当支所管内では地域活動の先進地区であり、住民の活性化に対する意気込みは相当高い。今後も行政として支援を継続し、自主活動の定着、発展を促進し、活性化(過疎化、高齢化率の低下)を目指す必要がある。	総合評価 A
	有効性	4		
	達成度	4		
	効率性	4		